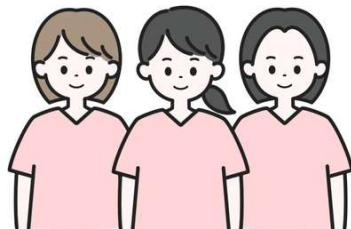


「2026年 明けましておめでとうございます」

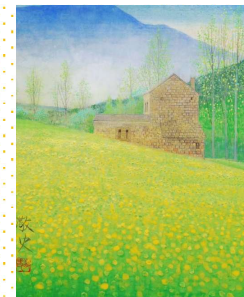
新年あけましておめでとうございます。おぎはら耳鼻咽喉科は6年目を迎えます。開院当初はコロナ禍真っ最中で、先の見えない不安のなかでの手探り状態でした。5年間やってみて、少しずつ、自分たちらしいクリニックを作ることができてきたように思います。難聴・補聴器・小児耳鼻咽喉科がおぎはら耳鼻咽喉科の柱ですが、それ以外の耳鼻科疾患についても、より専門的にアプローチしたり、新しい治療法を導入していこうと思っています。皆様あってのクリニックです。なにかご要望があれば、お気軽に聞かせてください。

現在、おぎはら耳鼻咽喉科には医師1名、言語聴覚士3名、看護師2名、事務スタッフ7名がいます。それぞれが経験を重ね、プロフェッショナルとして皆様に寄り添えるように精進してまいります。本年もおぎはら耳鼻咽喉科をよろしくお願いいたします。



オギジビ豆知識

今年度はこちらのコーナーで院内に展示している絵画作品について解説していきます



桜井敬史作「ピレネーの春」

「遠くの丘が黄色に染まっています。菜の花だろうか?と思い歩いていくと一面のたんぼ畑でした。広大なたんぼ畑が続き、僕はそこでスケッチをしました。」作者がスペインを旅した時に会った春の光景です。やわらかみのある緑色と黄色が、のどかな春の風景にマッチしています。遠くに見える山々は、ピレネー山脈でしょうか。果てしなく続いたたんぼ畑から、よい香りがしてきそうですね。まだ寒い日が続きますが、この作品を見て春の訪れを待ちたいと思います。

オギジビの輪

- お友達・お知り合いに、是非おぎはら耳鼻咽喉科をご紹介します。
- 神奈川県では珍しい、言語聴覚士のいる耳鼻咽喉科です。難聴や補聴器については大学病院レベルの診察・検査体制を整えています。
- ちょっとした不安の解消から専門的な診察まで、幅広く行っています。